

学費の公私間格差是正、「私学も無償に」、就学支援金制度の維持・拡充

# 「全国父母懇・私学助成をすすめる会交流集会 オンライン大会」私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会  
(事務局：全国私立学校教職員組合)  
No.16 2021年10月12日(火)

## 26都道府県312名の参加で全国の「つながり」を実感し大成功!! 全国父母の交流と同時に、秋の私学助成署名運動の大きなはずみの場に!! その1

10月10日(日)17:00、司会の長谷川さんの閉会あいさつが終わるとともに、約200名が並ぶ画面が、鈴木事務局長の掛け声で順番にスクリーンショットに収まりました。どの写真も満足感を湛えた笑顔です。「2021年全国父母懇・私学助成をすすめる会交流集会オンライン大会」は、26都道府県300名を超える参加で大成功を収め、終了しました。参加者は皆、全国の仲間との再会を支えに、折り返し点を回った「私学の無償化」の前進を求め、この秋のとりくみを強める決意を固めました。

10月10日13:55、7×7のzoomギャラリービュー画面は3面目に入り、さらに事務局の参加者欄「待機室」には入室を待つ名前が常に5~10名並ぶ状態で、開会に向けた高揚感が沸き上がります。

14:00、進行担当の神奈川の教員：長谷川さんの開会宣言で開会。

今回のオンライン大会の実行委員長の鈴木昭浩北海道私学助成をすすめる会会長が、主催のご挨拶をされました。コロナ禍により昨年の北海道での開催を、涙を吞んで見送らざるを得なかった思いを噛みしめつつ、そのコロナ禍により、子どもたちの学校生活が平常には送れない困難な状況に心を寄せ、子どもたちが安心して学びに向かえるようとりくみを強めましょう!! と呼びかけました。

続いて、全国私学助成をすすめる会共同代表の山口さんが、国と特徴的な県の授業料減免制度図と教育への公費支出の公私間格差、有期雇用教員率の表などを使用して、半世紀継続してきた運動がコロナ禍の私学の学費負担への影響を最小限に抑えたという到達点と、途は半ばの「私学の無償化」の実現をめざす2021年度の私学助成署名運動の争点を基調報告として説明しました。

お固い話の後、参加26都道府県が北から順番に、各県紹介を行いました。昨年、全国の皆さんの来道を迎えられなかった悔しさを晴らすように作成された北海道からの「道・紹介」動画、愛知からは10数名の父母が今年の希望プロジェクトの群舞を披露。山形、新潟、広島、福岡はサテライト会場からアピールボードをもって自己紹介。石川、福井、岐阜、香川など一人参加県の方にもオンライン自己紹介で全国のつながりを実感してもらいました。 **宴はなくても全国がつながった瞬間でした**

